



人とのつながりは、「地域のお宝」であり、お互いに顔の見える関係から始まり、いつの間にか支え合いへと発展していきます。趣味の仲間やご近所づきあいなど、地域の何気ない活動も5年後・10年後の人生を豊かにする大切な糧となります。ぜひ、あなたが今持っているつながりを、「支え合い活動」として意識してみてください。

尾島地区



尾島音頭の会

令和8年3月1日(日)尾島地区文化祭が尾島生涯学習センターにて開催され、尾島音頭の会が尾島音頭を披露しました。

尾島音頭の会は、令和7年10月に発足しました。発足のきっかけは、副代表の田村きよみさんが「尾島音頭を継承していきたい」との思いから、代表の高橋和枝さんに声をかけたことによるものです。

現在の会員数は22名で、練習は毎月第3月曜日の午後2時から午後4時まで、同センターで行われています。伝統文化の継承を目的とし、地域とのつながりを深めることを目指して活動しています。

みんなで楽しく尾島音頭の練習をしています。今回初めて、尾島地区文化祭で披露できたのは嬉しいです。発足して間もない会ですが、会員も増えてきて、いずれ慰問ボランティアで、病院や施設など、色々な場所で披露できれば良いと思います。



尾島地区文化祭に合わせて、尾島音頭用の法被を作成しました。



代表 高橋 和枝さん

地域のお宝発見 ～ 太田市生活支援体制整備事業 ～



文化祭では、尾島音頭が2回披露されました。1回目は尾島音頭の会の会員17名が踊りを披露し、息の合った演技で会場を魅了しました。2回目は来場者も踊りの輪に加わり、多くの人と一緒に尾島音頭を楽しみました。会場は笑顔と拍手に包まれ、にぎやかなひとときとなりました。

尾島音頭の会の会員の方にお話を伺いました。

会員の皆さんと尾島音頭を披露することができ、とても嬉しく思います。30年ほど前は、ねふた祭りで踊っていましたが、再び披露することができて良かったです。今後も活動을続け、尾島音頭を地域に広めていきたいです。



副代表 田村 きよみさん

尾島地区文化祭で初めて尾島音頭を披露することができました。久しぶりに踊れて嬉しかったです。この会の活動で、会員の皆さんに会えるのが毎回楽しみです。



松山 康代さん



地域の伝統芸能を受け継ぐことは、地域文化を守り、次の世代へ伝えていくことにつながります。今回、尾島地区文化祭で尾島音頭を初めて披露したことで、その活動を地域の多くの方に知っていただく機会となりました。

また、会場には尾島音頭を踊れる方が多くおり、世代を超えて親しまれていることを実感しました。今後も尾島音頭が受け継がれ、地域の人々をつなぐ大切な文化として、親しまれていくことを願っています。

Instagramはこちら！



○お問い合わせ 太田市社会福祉協議会 地域福祉係
〒373-0817 太田市飯塚町1549 TEL 0276-46-6208

過去の記事はこちらから

